

Title	大阪外国語大学学報 7 既刊学報内容
Author(s)	
Citation	大阪外国語大学学報. 7
Issue Date	1959-04-01
oaire:version	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/80160
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

既刊学報内容

5. 昭和32年4月発行

短歌の英訳	本多平八郎
「Avignon 国際学会」報告	畠中敏郎
シュテファン・ゲオルゲ研究—作品—	八木浩
イスパニア語に及ぼしたアラビア語の影響	吉田秀太郎

6. 昭和33年4月発行

J. M. Murry の「文体の問題」について	甲元健雄
「リジーヤ研究」	片山忠雄
日英音節構造の比較	林栄一
貿易用英語電報文の特徴	羽田三郎
MUTINY ACT に関する考察	森沢三郎
—英国議会の案出した軍の統御法—	
ドイツ語 „意味変遷“ の概観	熊谷俊次
ロシア哲学の畸人	
エヌ・エフ・フェオロドフの復活の哲学	高橋輝正
紅樓夢考（一）	金子二郎
「定息」の本質について	芝池靖夫
—その本国における論争への批判—	
現代ハルハ口語と文語との発音上の差違に就て	精松源一
セム語人称接尾語に関する一考察	伴康哉
アラビア語に於ける「神」の墮落	田中四郎
キヤケゴーアとドン・キホーテ	大谷長
—新発見のキヤケゴーア諷刺画に関する論争—	